

報道関係者各位

プレスリリース

2008年5月28日
ファルメディコ株式会社
代表取締役 狭間研至

=====
次世代薬局「薬局 3.0」実現に向けて臨床薬学研修センターを開設
地域医療の現場で活躍できる「在宅療養支援薬剤師」の育成を目指し、幅広い研修を実施
=====

大阪府下でハザマ薬局を7店舗展開するファルメディコ株式会社(本社 大阪市、代表取締役 医師、医学博士 狭間研至)は、平成20年6月4日に大阪府豊中市西町にて、臨床薬学研修センターを開設いたします。

近年、医療崩壊という言葉が現実味を帯びてきた中で、我が国における地域医療は大きな危機に直面していると考えられます。また、少子高齢化が進む中で、介護が必要な高齢者の長期療養の場は、医療機関から在宅や介護施設へと移行しつつあると共に、それらの患者様へ院外処方箋が交付されることも一般的となってきました。また、メタボリックシンドロームに代表されるように、予防医療の概念も、今後ますます進んでいくことでしょう。

そのような社会的背景の中で、町の薬局薬剤師が在宅療養の支援や補完医療の供給を行なうことは、社会的にも求められていると言えます。しかし、現実には5万軒を超える薬局と、そこに勤務する12万人を超える薬剤師のほとんどが、近隣の医療機関から処方される処方箋を応需する「調剤薬局・薬剤師」であり、「在宅・介護施設における医療の薬物治療を支える」という目的を達成することは容易ではありません。

そこで私たちは、「地域医療で活躍できる医療従事者としての薬剤師」を育成するために、「臨床薬学研修センター」を開設いたしました。薬局薬剤師にとっての臨床とは、すなわち、地域の介護施設や居宅ということです。私達は、そのような「臨床」の現場で薬剤師が活躍するために必要な知識や技術を身に付ける場所として、本センターを活用していきたいと思えます。

町の薬局・薬剤師が、従来の処方箋調剤のみならず、在宅療養支援と補完医療の供給という、2つの職能を持つ薬局を第3世代薬局として「薬局3.0」と位置づけております。この薬局3.0の具現化は、必ずや、我が国の地域医療のマンパワー不足を解消する有効な手段になることでしょう。また、「薬を処方箋通りに調剤してお渡しする」という薬剤師の仕事のあり方に限界を感じている薬剤師にとっても、地域医療の現場で、チーム医療の一翼を担うという、新たなフィールドでの活躍の場が広がっていくものと考えております。

本センターでの研修を通し、薬局・薬剤師のあり方を変えていくことで、よりよい地域医療のあり方を追求していきたいと思えます。

弊社の概要：

ファルメディコ株式会社

大阪市北区天神橋 1-9-5 山西屋・西孫ビル 3F

TEL：06-4801-9555 FAX：06-4801-9556

平成 16 年 2 月設立（創業 昭和 51 年 12 月）

薬局の運営、システム開発、WEB制作等を手がける。

代表 狭間研至が提唱する「薬局 3.0」を実現化に向け、
新しい医療環境の創造に取り組んでいます。

本件に関するお問い合わせ先：

ファルメディコ株式会社 総務部：横田絵里香

E-MAIL：soumu@pharmedico.com